

フキ指導案

チーム四小

青 梅 第 四 小 学 校
授 業 改 善
6 年

5月28日(水)5校時

国語「イースター島にはなぜ森林がないのか④」

本時のねらい

◎筆者がどのように論を進めているのかを考えることができる。①

本時のこだわり！！

展開の構造化に挑戦！！

①話し合いを通して筆者のすごさに気付く！ ②筆者の論の進め方が分かる！！

学習活動	指導・支援 (○) 評価 (☆)
1. 前時の振り返りを紹介する	○モアイ像の必要性について述べているものを発表する C 当時の人々にとって祖先を敬うために大切な文化だった C 長く続いた高度な技術をほこる巨石文化である きっと伝統となり受け継がれたと考える
2. 「人が生きるために必要なこと」を考え直す	○キーワードカードから「必要」「う～ん」を選ぶ ・農地開墾◎ ・丸木船◎ ・モアイ像▲ C ・モアイ像製作をしなければ、文明は崩壊しなかった
①モアイ像は必要？ 不要？ (考えたい)	
3. 自分の立場を明らかにする	○名札カードで表す C 「考え中」を説得したい！
4. 自分の考えを段階的に話し合う (伝えたい)	○ペア→グループ→全体へと広げていく C 必要！なぜなら、先祖代々続いた文化をつないでいくことは生きるための気力になるはずだから C 不要！森林破壊をした大きな原因だから。もし作っていなかったら文明は崩壊していないと思う
5. 話し合いを基に自分の考えについて再考する	○テンプレを提示し、全員が書けるようにする ・モアイ像は必要である。なぜなら、～からだ。(不要 ver.)
6. 考えを発表する	○立場が変わったり、考え中から動いたりした児童の考えを聞いてみたい C はじめは不要でしたが必要に変えました。なぜなら、当時の人々にとっては未来へつないでいく伝統文化だと気付いたからです。子孫のことを願ってモアイ像は作られたと考えます。
②筆者が主張を強めるためにくふうしたことをまとめよう	
7. 筆者の論の進め方について話し合う	○文章構成や本論の原因と結果、事実、事例と筆者の主張などをキーワード・センテンスカードをもとに確認する。 C 本論(中)が詳しく書かれているので、筆者の主張が強まった C はじめとおわりだけでは伝わらない
8. 今日の授業で学んだことは何かについて振り返る	○論の進め方やモアイ像の必要性について考えを深めたことについて、児童の言葉でまとめていく ☆C (1)ウ (記述・発言)